

J T U 埼玉高教組 ニュース

発行 埼玉高等学校教職員組合

〒330-0062

さいたま市浦和区仲町3-13-10

ヤギシタビル4F



NO. 671

教育復興に向けて支援の輪を広げよう！

TEL 048-823-4071

FAX 048-823-4072

Eメール saikojtu@maple.ocn.ne.jp

関高連 開催 活発な情報交換

おたくの所、まだそんなことしてるんですか！

12月16,17日、神奈川県横須賀市にて関東高校連絡会(関高連)が開催された。関東の高教組が集まり情報交換する場だが、新潟、静岡は常連、今年に加えて山形、宮城、福島からの参加もあった。

この時期に関高連が行われるのは理由がある。秋に賃金等確定交渉が行われるが、そのホットな情報を共有し、今後の当局との対応に生かすためである。各都県毎に状況が異なっている事が多々あり、おたくの所、まだそんなことしてるんですか、という驚きを持って迎えられるような報告もある。今回は第2と第3分科会の報告をしたい。

第2分科会報告

高校改革では、どの県も中学生人口の減少に伴い、高校の統廃合を余儀なくされているが、特に人口の少ない県では深刻だ。統合しても1学年4クラス規模程度にしかならず、それでも定員が埋まらない状況もある。統合されると通学する生徒の負担(距離)が増えることがまあり、列車で60km、通学で2時間近くかかる事例なども報告された。一方で私学はスクールバスを出し、駅から遠い集落までも生徒を迎えに行く。公立高校の魅力とは何なのかを考えさせられた。

入試改革では、高校進学者の公私比率が私学で伸びているのは共通の現象だったが、入試制度は各都県置かれた状況が本当にバラバラだった。多くの所が学力検査1回の入試に収斂する中、これから推薦入試を始める県があった。周回遅れもいいところだと、呆れ顔での報告だった。

採点の電子化については、全く動きのない県もあったが、概ね電子化に向けて動いている。過去に採点

ミスの不祥事のあった所は、今や先進県になっているのが皮肉だった。

第3分科会報告

第3分科会は、組織・人事定数・専門部課題などについて話し合われた。どの分野でもそうだが若手の担い手が不足している状況は組合も変わらないが、複数の組合で、初任者の6~8割が組合に加入していると報告があった。様々な行事やレクを行ったりして働きかけて拡大に繋げているようだ。

欠員・未配置については、どの県も生じている。県教委がインターネット求人サイトを活用したり、退職した校長に片っ端から電話をかけ補充に繋げている県からの報告があった。

年次研修については、初任研を2年目、3年目に分散している県が複数あったが、多くの県が法定研修や県独自の研修含め、この間の働き方改革で内容を簡素にしたり日程を削減したりしている。

教員採用についてだが、募集人数は人口の違いもあるので簡単に比較できないが、倍率はどの県も軒並み下がっているのが現状だ。埼玉もそうだが、地方に試験会場を複数設置したり大学3年からの受験を可能にする方針の県が複数あった。

その他、非常に多岐に渡り議論がされたが、ここには書けない。各県の教育事情が多々話題に出され、官制研修では出来ない組合ならではの会議であった。

湘南の地で活発な議論が行われた



『学校の大ピンチ』を救う方策の実現を 求める署名へのご協力を！

先日12/2に大宮駅西口で「学校の働き方改革」「持続可能な学校の実現に向けた」駅頭街宣行動を埼玉教組と共に行いました。日教組の「緊急提言」、メッセージを印刷したティッシュを配り、市議さんたちがアピールをしましたが、用意したティッシュが無くなる程、皆さんの関心は高かった印象があります。

そこで、街宣行動は継続し、並行して署名を大々的に集めることになりました。

署名について、2つの方法があります。

①署名用紙での署名

12/22の発送物の中に署名用紙を同封します。1枚で5名分の署名が出来ますので、出来る限り一人あたり5名の署名をお願いします。なお、追加の署名用紙については、E-kujiraに添付しますので、ご活用をお願いします。

②オンライン署名

右上のカードを活用してください。QRコードを読



み込むとChange.orgのページが表示されますので、案内に従って署名をお願いします。

なお、署名については、①か②のいずれかをお願いします。重複がないようにご協力ください。

署名期間は2/29までとなっています。詳しい事は埼玉高教組本部にお問い合わせをお願いします。

日教組

「7つの提言の実現を求める」中央集会

1/20土曜日 第Ⅰ部11:00～12:00 第Ⅱ部13:00～16:00
Webで参加できます。第Ⅱ部のシンポジウムに参加をお願いします

詳細は後日ご案内します。時間を空けておいてください

12月7日、衆議院第一議員会館で行われた「国連人権勧告の実現」を求める集会に参加。◆日本政府は国連からいくつもの「勧告」を受けているが、法的拘束力はない、と突っぱねている。障がい者、部落、朝鮮高校無償化、アイヌ、女性、ヘイトスピーチ……。世界的な認識では、仕組みとして法的拘束力のあるなしを、そもそも問題としていない。差別を受けている方々の人権保障が問題なのだ。◆杉田水脈議員の放言を放置する政権与党なので期待はできないにしても酷すぎる。／「いじめ」との比較を考えたい。◆いじめ問題では、丁寧に聞き取りを行い、いじめを受けたと感じた当



事者が最優先される。であるならば、なぜ差別・人権の問題では、当事者の側に立って、徹底的に人権を守ることを追求しないのか。いじめの場合は、「加害」の側へも指導のなかで、より良い関係を作っていくことが求められる。同じ時代を生きてるのだから関係を断ち切ることはできない。◆そして、次は大人の関係である。管理職によるパワハラは論外だが、各学校でとげとげしい言葉の暴力から教職員は守られているか。◆私が言いたいのは、いじめで丁寧に対応するその丁寧さを、すべての場面で持つべきだ、ということだ。「人にやさしく」byブルーハーツ (江口英一)